

謹賀新年

令和二年庚子



轉法輪

加持とは
如来の大悲と
衆生の信心とを表す

弘法大師

令和二年元旦発行
発行所 犬飼山轉法輪寺
〒六三七〇〇七二
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七二二一四四〇三
FAX〇七四七一五一四七二七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

謹んで新春の

お慶びを申し上げます。

皆さまには、健やかに新春を迎えられたことと存じます。

本年は子年、十二支の初めからスタートする年がやってきました。心機一転、初心にかえるよい区切りとなりました。朝晩の冷たい空気も爽やかに思えます。

初詣にお参り下さい

十二月三十一日(火)

除夜の鐘

年越し護摩供

一月一日(水)・二日(木)

甘酒接待

破魔矢授与・今年の一字

一月三日(金)九時半より

新春護摩法会

御鏡開き・ぜんざい接待

イヌカイジャズVOL.2

犬飼山轉法輪寺

住職 桑山慈紹

お大師さま 仏さまは常に私たちを気にかけて、救いの手を伸ばしています。それを受け止
められるように心を清めていれば、大きな力を頂くことができるでしょう。
のお言葉

令和二年度 庚子年 かのえね

方位の吉凶

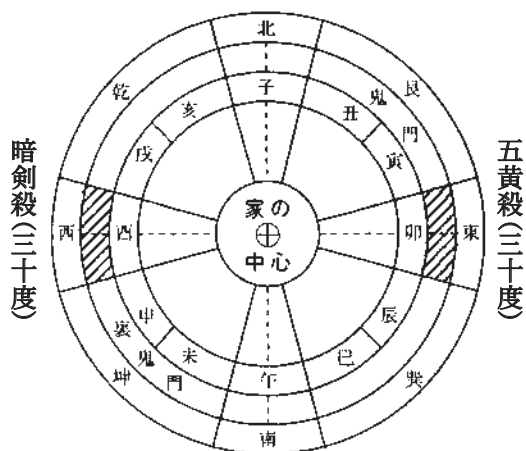
住職 桑山慈紹

新年あけまして

おめでとうございます。

令和二年庚子（かのえね）は、七赤金星が中央に巡ります。よって本宅中心（または自分の寝室）より西（西・三十度）に暗剣殺、東（卯・三十度）に五黄殺、歳破神が南（南・三十度）に巡り、老若男女を問わず大凶です。

家相方位盤



これらの方位に今年、新築、増改築・土木工事・開店・結婚・出産・長期旅行・就職・進学・転宅・契約等々は極力避けるのが賢明でしょう。

暗剣殺とは何か？

暗剣殺とは、読んで字の如く、暗闇から剣が飛び出して来て殺すということとで、びっくりするような災難が、外から急に鋭く深く激しく降りかかってくる方崇りをいいます。

五黄殺とは何か？

五黄殺とは、強烈な土に戻す作用を起こす方崇りで、命を落とすか、財産をゼロにしてしまうこともあります。五黄殺の特徴は、暗剣殺とは対照的でゆつくりとしぶとく何度もあらわれ、向こう五十年間も祟ると恐れられています。

歳破神

歳破神とは、大歳神という神様と戦い、いつも負ける、所謂「負神様」で南（午）に位し、普請・移転・旅行・縁組を求めるは、凶といわれています。

暗剣殺と大金星が重なる西（三十度）は、本年大々凶方となり、どなた様もご注意ください。

本年の恵方（あきの方位）

本年の歳徳神は、庚（かのえ）西南西で恵方（よい方位）です。但し、小範囲です。新年を恵方位の神仏に祈るも有難いことです。

本来西方には、阿弥陀如来がおられます。

（真言に）

おん あみりたていせてからうん
とお唱えし、

南無大師遍照金剛

南無大明神

と唱えて、恵方の徳をいただきましょう。

方位を超えて

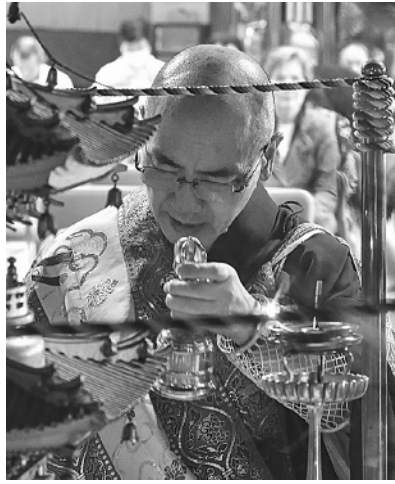
方位に吉凶があることは無視できません。方位の吉凶を知り、暦を上手に使うことが開運につながります。

新年を迎えて種々様々な計画をされていることと存じます。建築などのことでご不明な点がございましたら、家の平面図をグラフ用紙に正確に書き、磁石をふって南北線を記入した図面と、ご家族の生年月日を添えてお尋ね下さい。

輪 法 轉 (3)

ほどこしの心

住職 桑山 慈紹



大みそかから、お正月の三が日の間、境内では甘酒やぜんざいの「お接待」をしています。接待というところ、最近の人が思い浮かべるのは、会社の取引先や上司とゴルフに行ったりすることかもしれませんが、それと

は違うものです。

四国八十八ヶ所霊場では、お遍路さんに対して、食事や路銀をふるまう風習があります。ふるまう方は、お遍路さんをお大師様だと思い、旅の応援をする。受け取ったお遍路さんは、その真心に癒され、元気づけられて、また歩き出そうという勇気を頂く。これがお接待です。そのならわしが、全国に広がっていったものです。

あるお方は裁縫で小物を作って、あの人に、この人にとプレゼントをされていました。「わしなあ、いつお迎えるかわからんねん。でも、まだ来んみたいやからなあ」と言いながら、針を進めておられました。お医者さんからは、寿命は残り三か月だと言われていたそうです。

残り少ない時間、自分に何ができるのか、立派なことは何もできへん。

でも、裁縫やつたらずっと続けてきたし、材料もある。だから、お世話になったあの人に、ご苦労かけたあの人に、「ありがとう。」「おおきに。」と気持ちを伝えよう、と思つて続けたそうです。

その効果があつたのでしょうか、お病院に行つて言うのは、「とつくに三か月すぎてますけど、まだお迎え来ませんねん、どうなつとんでしょ？」

お医者さんも首をかしげ、なぜ元気でいられるのかと不思議だということです。数値にはあらわれない何かがある、感謝の心を持つて暮らすということは、その人の人生を変える力があるということだと思ひます。

またある人は、月々お稲荷さんのお社をお掃除しているそうです。「ほうつておけば、落ち葉でいっぱいになつてな。わし、それが気になつて

「しゃあないからやつてるんや」と。写真を見せてもらうと、階段が三十段以上ある、結構にきびしいところ。その参道をお掃除して、お社を拭き上げる。その行いが近所の人たちに広まって、「わしも」「わたしも」とお手伝いしてくれる方が多くなっているそうです。それが嬉しいんだとお話してくれました。

これらの行いに報酬はありません。ただ働きです。ですが、私が見るには、そのひとの家業は順調にいつているように思えます。神さま仏さまからのごほうびがあるのではないかな、と思います。

お接待というものは、自分ができる範囲のことで行うものです。お金もないし、時間もないからできないではなく、自分なりに何かしらさせて頂こうという姿勢が大切ではないでしょうか。きっと、神仏のご加護がその方に訪れると信じています。

生かせいのち

【第六十三話】

名誉住職 桑山聖規



令和二年の正月を迎え、天下泰平と信者ご一同様の御多幸を謹んでお祈り申し上げます。

今年の子年で、十二支の始まりであります。子は実を種蒔くといい、子孫繁栄の基を作る吉祥の年であります。

種には良い種と害を作る種があります。世の為人の為になる種蒔きが、自分も幸運に導くことは必定であります。悪の種蒔きは人を害し、大きな悪の種であれば驚く災難を作ることになります。これはお釈迦様が説かれた「縁起」の法であります。善因善果、悪因悪果といい、必ず種からは芽が出てきて、実を結ぶことになります。自他ともに害すると分かっているながら、悪い行いを続ける人があるのは大変に嘆かわしいことです。住みよい明るい世界を作るために一人一人が良い行いを心がけてまいりましょう。一日一善の行いが、菩薩行です。



住職に聞く！

Q & A

Q、閏年にお墓を建てちゃダメ？

閏年に墓を建てるのは良くないと
言われました。でも、故人の三回忌
を迎えて、そろそろ建てておきたい
のです。どうすればいいでしょう。

A、閏年でも墓石の建立は出来ます。

結論からいうと、問題ありません。
墓地を建ててはいけないと言われる
理由は、暦にあります。

現代の太陽暦では、二月が二十九
日と一日増えるだけですが、旧暦で
ある「月の暦」を見ますと、来年の閏
年は、四月が二回あります。一年間
が十三か月あるということです。

昔のお給料は年俸制だったようで、
閏年であってもいつも通りのお給料。

家計が苦しくなる年でもありました。
したがって、「お金のかかることはな
るべく控えるほうがいい」となった
ようです。

また四月が二回ある、重なるとい
う意味合いです。慶びことが重なる
のは大いに結構ですが、不幸ことは
誰しもさけたいものです。よって、
不幸なことが重ならないようにと墓
地をさわることを避けた一因だと考
えられます。

迷信を取るか、親孝行を取るか

墓石建立は、親孝行の最も尊いこ
との一つです。よって墓はあまり遅
らせないよう、早く建てることが大
切です。

旧来の暦を気にされる方は、来年
の五月二十三日～六月二十日の間を
避けて（この期間が旧暦で重なる日
です）、墓石を建てられてはいいか
がで
しょうか。

あした天気になあれ

その六

小松裕衣

思い出のおはぎ

昨夏、祖父坂田義章の七回忌の法
事がありました。いつも無口で、暮
らしの中で見つけたさやかな喜び
を歌に詠むのが好きだった祖父。先
の戦争で特攻隊として出撃したもの
の、機械の故障で海の上に不時着水
して一命をとりとめ、故郷に戻り国
語教師・僧侶として九十一歳の生を
全うしました。生前、祖父から戦争
の話聞くことはあまりなかったの
ですが、この度の法事にて母から「思
い出のおはぎ」の話聞きました。
昭和二十年五月、祖父は特攻隊と
して鹿児島県の串良基地から、沖縄
周辺の敵艦船や輸送船に突撃するこ

とが決まりました。知らせを受けた祖父の母が、はるばる広島から最後のお別れに手作りのおはぎを持ってきてくれたそうです。当時は戦争中の食糧難で、もち米はもちろん、砂糖やあずきを手に入れるのは大変だったはず。広島からの長旅で、おはぎは少しいたんでいたそうですが、祖父は「おいしい、おいしい」と言って食べたそうです。母の愛情がたくさん込められたおはぎの味。祖父は生還した後も、そのおはぎが忘れられなかったそうです。

祖父の七回忌の朝、私もお供えにおはぎを作りました。特攻隊として沖縄の海に散った戦友たちと、同じ浄土の世界で、おはぎを食べてくれたでしょうか……。

散華せし 人還れるや 歳月の
壁の向こうに 鳳仙花燃ゆ

義章

雪の日の物語

坂田笑津子

雪が降ると思い出す、亡くなった母の「雪の日の物語」です。

母は晩年、足が少し不自由でしたが、簡単な家事を済ませると、ネコと日がな一日テレビを見る中で、唯一の楽しみがパチンコでした。「ばあちゃんのリハビリや」と笑っては、近くのお店によく出かけていました。ある日のこと。日没までに帰る予定が、ツキがきて、出るわ、出るわ。帰るに帰れず、日はどつぷりと暮れてしまいました。

元気なものなら五分ほどの距離ですが、母の足ではおぼつかず、いつもタクシーにお世話になっていまし

た。ところが、急に激しく降りだした雪のせいで道は大渋滞。頼みのタクシーはいつになるやら。やれ、困ったと思っていると、顔見知りの若い店員さんが送ってくださるということです。「僕は、田舎育ちで力が強い。ばあちゃんの一人くらいおぶって歩くなど、何てことはないよ」と言つて。ばあちゃん、やるねえ。まだまだ、捨てたもんじゃないよ。母娘して、心がほっこり、ほっこり。日本中の誰よりも先に、春をいただいたようなできごとでした。

あの夜、しんと冷え込む雪明りの道。突然現れたナイトのたくましい背に揺られながら、八十歳の姫君は、どんな気持ちだったのでしょうか。

母さん、そちらでも、ステキなナイトに出会えましたか？もちろん父さんにはないしですよ……。

新春の行事

初大師

一月二十一日(火)

十時より

大般若経六百巻転読法要

―七難即滅―

七福即生―



「大般若經典の智慧の風をお受けください」

初不動

一月二十八日(火)

九時より

十二座護摩供

―厄除開運・

善願成就の大祈禱―



「護摩の炎で災厄を浄めます」

永代供養法会を終えて

本年の記念公演は、佐藤信頭さとうのぶあきさんという葬儀屋さんをお招きして、「お葬式」の話を伺いました。

家族葬や墓じまいなど、不安をあおられて、迷惑をかけてはいけないと思い込んでしまふ。でも、誰の世話にならずに逝くことなんてできないんだよ、亡くなった人に似あうように見送られるものだから、大丈夫だよ、安心してよ。というメッセージが根底にあつたように感じました。

先日、中村哲医師なかむらてつがアフガンで凶弾に倒れるというニュースが日本中を駆けまわした。生命の終わり。肉体が活動を終え、それ自体はもう何も生み出すことはありません。

しかし、遠い異国の地で、人種も宗教も超えて人道支援に命を燃やした生涯が、あらためて世界に知られました。棺ひつぎはアフガンのガニ大統領が自ら担いで見送られ、分骨されて当地にもお墓が建てられるそうです。中村医師を知らなかった子どもたちも、「こんな立派な人がいたんだ」と、その足跡をたどろうとする子が出てくるかもしれません。

命のあるあいだは、死や葬式を不安に思うよりも、今の自分を精一杯生きること。見送り方は、残された人が考えればよいのです。きっと、自分に似合うお葬式をあげられますから…。



ご詠歌をお唱えしたい方を募集しています。犬飼詠歌講では少人数で気遣いなくご詠歌を覚えられます。各地の巡拝でもお唱えできます。

1月3日(金)
イヌカイジャズ
vol.2

朝倉聖トリオ
& 藤野純子



朝倉 聖(ドラム)
佐藤由行(ピアノ)
藤岡靖博(ベース)
藤野純子(ボーカル)

揮毫 島岡芳山(五條市)



十二月三十一日(火)夜十二時より

除夜の鐘・百八灯明の点火

般若理趣三昧

初護摩供

一月二日(水)二日(木)

開運破魔矢

狩場明神御真影の授与

甘酒接待



御鏡開き

一月三日(金)午前九時半より

法要

おたのしみ福引き(空くじなし)

篤志者の御奉納により、千名の方に

おたのしみ福引きがあります。

ぜんざい・鏡餅接待

子(ね)年男・年女

の方大集合!

身代りお守り授与

白衣・袈裟・腕念珠をつけて九時ま

でにお集まり下さい。奉納され

た鏡餅を切っていただきます。

星祭り結願祭

二月三日(月)十時より

— お餅まきのまき手募集 —



厄年でご希望の方は、お餅まき・豆まきに参加して頂きます。また、まき餅の奉納も受け付けています。沢山の方に振舞をして喜びを与え、悪運から逃れましょう。

※まき手には定員があります。到着順となりますので、お早目にお越しください。(やぐらの上…五名程度、その他…二十名程度。やぐらの上でまきたい方は、履きなれた靴でお越しください。)